



センターだより

第6号

平成22年8月1日

編集・発行 東京都立心身障害者口腔保健センター（指定管理者：社団法人東京都歯科医師会）

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 8F・9F 電話 03-3235-1141（代表）／03-3267-6480（予約・診療）

～ 障害のある方の歯周病治療～

はじめに

障害のある方は、歯磨きが難しいことや、様々な疾患を抱えていることから歯周病になりやすいと言われています。歯周病は歯を失う原因となるととても怖い病気です。当センターでは障害のある方に対して積極的に歯周病の治療や予防に取り組んでいます。

チェックしてみよう！

- ☐ 歯磨きをすると血が出る
- ☐ 歯ぐきが赤い
- ☐ 歯がぐらぐら動く
- ☐ 口臭がある
- ☐ 家族に歯周病の人がいる
- ☐ 糖尿病にかかっている
- ☐ ダウン症者である
- ☐ 喫煙している
- ☐ 血圧を下げる薬（カルシウム拮抗薬）を飲んでいる
- ☐ てんかん薬（アレビアチン[®]やヒダントール[®]）を飲んでいる

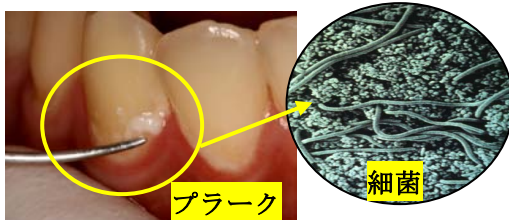
当てはまる方は要注意！

「歯周病になっている」又は「歯周病になりやすい」方です。歯科医院の受診をお勧めします。



歯周病ってどんな病気？

歯周病はプラーク（歯垢）の中の歯周病菌によっておこる感染症です！



プラークはさまざまな種類の細菌の塊で、1mg中に1,000万個以上の細菌が存在すると言われています。この中に、歯周病菌が潜み、その菌の種類と数は人によって異なります。

歯周病菌は、歯と歯ぐきの間の歯周ポケットを棲みかとして増殖していきます。歯周ポケットは、健康な歯ぐきで1～3mm程度の深さですが、歯周病菌によって、歯ぐきが腫れて出血し、歯を支えている骨が溶けていくことでどんどん深くなっていきます。はじめのうちは自覚症状が出にくいことが特徴で、気づいた時には歯を支える骨が少なくなり、重症になっていることもあります。

また、体の健康状態や飲んでいるお薬によって、重症化しやすいため注意が必要です。

<歯周病が進行した状態>



歯周ポケットの測定器具に2mmずつの目盛りが付いています



6mmの歯周ポケットがあります

歯ぐきの位置 骨の位置



器具が深く入っている部分は、骨が溶けてなくなっている所です

<健康な状態>



骨の位置が左の写真と比べて違います

歯周病治療の流れ

歯周病の検査

プラークの付着や歯ぐき、歯を支えている骨の状態、歯周ポケット内の細菌の状態などを調べます。



① プラークの診査



② レントゲン写真撮影



③ 歯周ポケット測定

	菌数 (対数)	菌数 (対数)	対数菌数比率	リスク判定 (参考値あり)
	Log10	Log10	%	
主な口腔内細菌	3.6	3,700	——	安心 9.1% 注意
* A. actinomycetemcomitans	1.0 未満	10 未満	検出値 0.00%	安心
* P. intermedia	1.0 未満	10 未満	検出値 0.00%	安心
* P. gingivalis	1.0 未満	10 未満	検出値 0.00%	安心
* T. forsythensis*	1.0 未満	10 未満	検出値 0.00%	安心
* T. denticola	1.0 未満	10 未満	検出値 0.00%	安心
F. nucleatum				——

④ 細菌検査 (自費診療)

歯周病の治療

歯周病の検査の結果と治療計画を説明した後、歯周病の治療がスタートします。



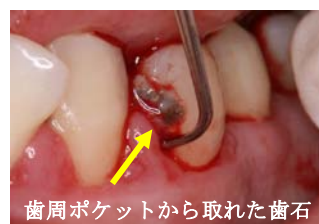
① ブラッシング指導

患者さんに合わせたプラークコントロールの方法を練習していきます。



② 歯の表面の清掃

目に見える場所のプラークや歯石を除去し、歯の表面を磨きます。



③ 歯周ポケット内の清掃

局所麻酔をして歯周ポケット内の歯石や細菌で汚染された組織を取り除きます。

歯周ポケット内の清掃は、通常数回に分けて行います。しかし、部分的に清掃を行っても、他の歯周ポケット内に潜む歯周病菌が、1度清掃した部分に再感染し、治りが悪くなる可能性があります。そこで当センターでは、**1度にお口の中全体の歯周病菌をなくす**ことを目的に、全身麻酔や静脈内鎮静下により、**1回で清掃する方法**も行っています。

【 全身麻酔下で歯周病の治療を1回で行った症例 】



治療前



治療後

抗てんかん薬ヒダントール®の副作用で歯ぐきが増殖し、全体の約70%が深い歯周ポケットでした。治療後は口臭や出血がなくなり、歯科治療に対する協力性も向上しました。

定期的なケア (メンテナンス)

歯周病の治療後は、定期的なケアを行っていきます。

歯周病は、プラークコントロールが悪いと**再発しやすい病気**です！長期間健康な歯ぐきを保つためには、患者さんによるホームケアと定期的な歯科医院での専門的ケアが大切です。



歯面のクリーニング



歯周ポケット内の清掃

専門的ケアは、患者さんが磨けない部分のクリーニングや歯周ポケット内の清掃を行います。通院間隔は、ホームケアや歯ぐきの状態などに合わせて決めていきます。